

2011年11月18日
株式会社日立製作所

NKSJ システムズ株式会社が日立の総合的品質管理支援ツールを SaaS型で利用できる「QE-EXPERT+」を採用

日立のシステム開発ノウハウを多く盛り込みプロジェクトの運用形態に合った効果的な品質管理を実現

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)のシステム開発プロジェクト向け総合的品質管理支援ツールを SaaS^(*)型で利用できる「QE-EXPERT+(キューイーエキスパート プラス)」を、このたび、国内最大規模の損害保険会社である NKSJ グループの情報システム会社である NKSJ システムズ株式会社(代表取締役社長:末廣 利明)が採用し、本格稼働を開始しました。

「QE-EXPERT+」は、実際に日立のシステム開発を支えている品質保証活動のなかで多くの活用実績がある品質管理ツールを SaaS 型で提供します。

システム開発プロジェクトにおける管理帳票(障害管理票、仕様変更票、プログラム変更票)を一元管理するとともに、万一の障害時には、障害発生から対策までのステータス情報を管理して変更作業の漏れを防止するなど、日立のシステム開発のノウハウを多く盛り込んでいます。

また、必要に応じて管理帳票の登録、検索、集計をすることができるとともに、必要なデータをすぐに抽出・ダウンロードし、分析コード情報^(**)に基づき表計算ソフトで多面的な品質評価を行うことができます。

今回、NKSJ システムズ株式会社は、こうした点を評価し、「QE-EXPERT+」の採用にいたしました。

日立は、企業などの CIO(Chief Information Officer)や情報システム部門の管理者向けに業務の効率化と高度化を支援する「日立 IS マネジメント・サービス」のラインアップのひとつとして、「QE-EXPERT+」を提供しています。

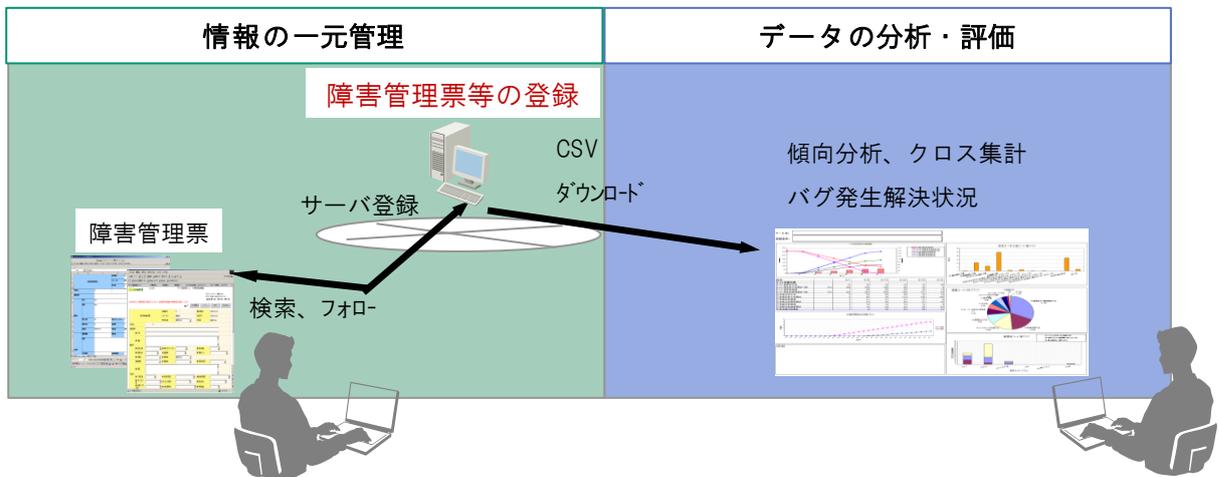
今後も日立は、「QE-EXPERT+」を含め、「日立 IS マネジメント・サービス」により、情報システム部門の業務高度化および省力化を支援します。

*1 SaaS:ユーザーが必要とするアプリケーション機能をサービスとして提供するビジネス形態。

日立は、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」のメニューとして SaaS を提供している。

*2 分析コード情報:現象区分、原因区分等のコード化した画面項目。単独や組み合わせて参照することにより、品質分析が可能となる。

■NKSJ システムズ株式会社での「QE-EXPERT+」の利用イメージ



■NKSJ システムズ株式会社 ホームページ

<http://www.nksj-sys.com/>

■「日立 IS マネジメント・サービス」に関する ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/serv02a01.html#l03>

■総合的品質管理支援ツール「QE-EXPERT2」に関する ホームページ

「QE-EXPERT+」は、「QE-EXPERT2」を SaaS 型で提供しているサービスです。

<http://www.hitachi.co.jp/qe-expert/>

■日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■他社所有商標に関する表示

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件についてのお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 IT サービス事業部 [担当:竹本]

〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田 890 日立システムプラザ新川崎

<http://www.hitachi.co.jp/os-inq/>

以上

■「QE-EXPERT+」の特長

#	特長	項目
1	カスタマイズ	プロジェクトに応じた画面名、帳票名、画面項目名の設定が可能
2	入力支援	入力効率や入力品質を向上させるための機能により、分析段階での分析コード見直しなどの手戻りを防止
3	ステータス管理	障害の発生、原因判明、対策、リリースなどのステータス管理タイミング・項目を柔軟に設定可能
4	画面レイアウト	管理帳票など任意の画面レイアウトでの登録や出力が可能
5	品質管理	障害対策の遅延・停滞状況の集計、ステータス別集計など品質管理を実現

■ 検索例

ステータスや分析コード、キーワードなどの多様な検索キーにより用途に合わせた検索ができます。

< 検索画面・検索結果 >

検索条件指定

管理番号 BJMS- [] ~ []

ステータス 未削除 削除済

調査中
対策中

日付 [] ~ [] 未入力を検索

分析コード [] []

キーワード 部分一致 完全一致 含まない 未入力を検索

大文字小文字を区別 全角半角を区別

結果表示指定

ソート [管理番号] 昇順 降順 表示件数 [20件]

検索 クリア

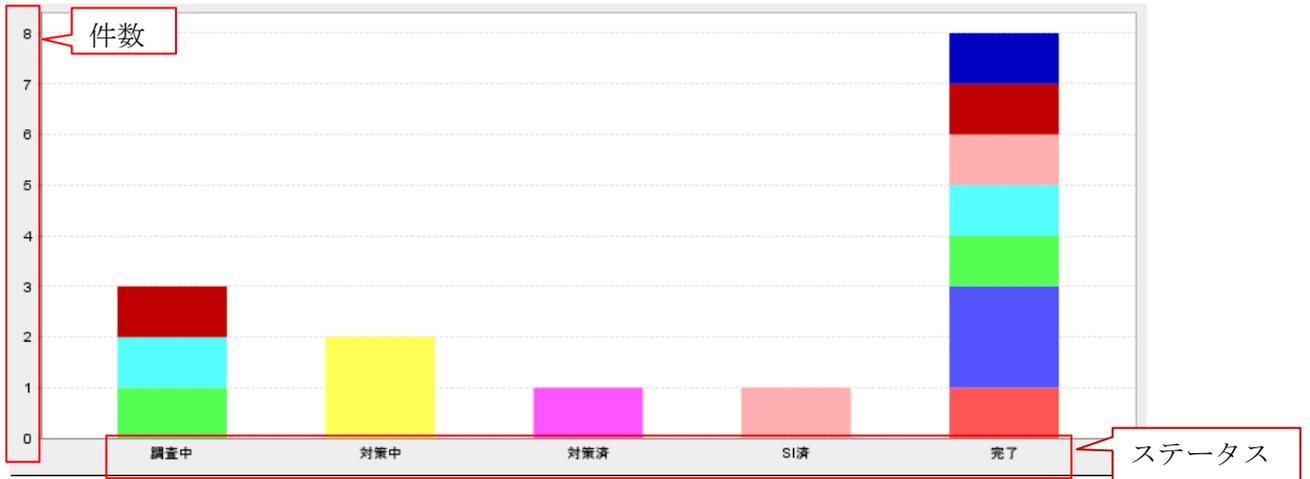
管理番号	ステータス	担当者	件名	障害種別	発生日時	発生場所	発生内容	対応状況
BJMS-000056	対策中	日立太郎	件名56	C:軽微な不良	2011/09/25	18:出力不正	A:新規不良	不良形態
BJMS-000055	完了	日立太郎	件名55	B:機能障害	2011/09/25	16:ファイル/DB更新不正	E:仕様不良	修正不十分
BJMS-000054	対策済	日立太郎	件名54	C:軽微な不良	2011/09/24	20:操作性	A:新規不良	修正不十分
BJMS-000053	完了	日立太郎	件名53	B:機能障害	2011/09/23	17:計算値不正	A:新規不良	新規不良
BJMS-000052	完了	日立太郎	件名52	A:重要障害	2011/09/23	11:全面停止	G:同伴	環境不良
BJMS-000051	完了	日立太郎	件名51	C:軽微な不良	2011/09/22	20:操作性	B:修正不十分	
BJMS-000050	完了	日立太郎	件名50	B:機能障害	2011/09/22	17:計算値不正	A:新規不良	
BJMS-000049	完了	日立太郎	件名49	C:軽微な不良	2011/09/22	18:出力不正	B:修正不十分	
BJMS-000048	完了	日立太郎	件名48	C:軽微な不良	2011/09/19	20:操作性	A:新規不良	
BJMS-000047	完了	日立太郎	件名47	B:機能障害	2011/09/19	16:ファイル/DB更新不正	A:新規不良	
BJMS-000046	完了	日立太郎	件名46	A:重要障害	2011/09/19	11:全面停止	E:仕様不良	
BJMS-000045	完了	日立太郎	件名45	C:軽微な不良	2011/09/18	18:出力不正	A:新規不良	
BJMS-000044	完了	日立花子	件名44	C:軽微な不良	2011/09/17	18:出力不正	A:新規不良	

■集計例

各管理帳票を集計でき、ステータス別集計、発生対策状況集計、コード別集計、マトリクス別集計、担当者別集計ができます。

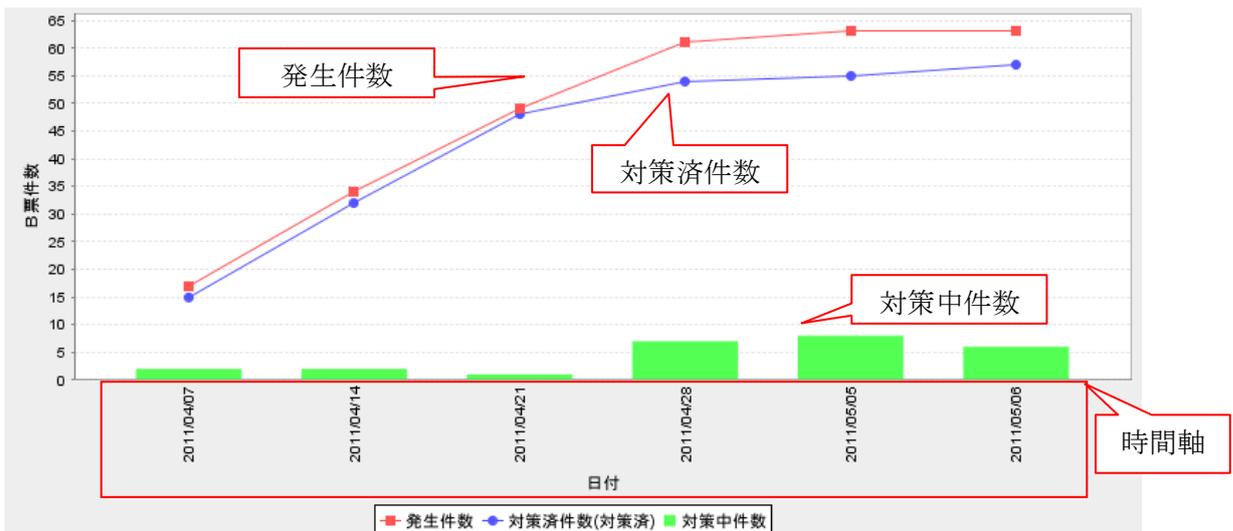
<ステータス別集計>

ステータス(調査中～完了)ごとの件数をグラフで表示します。



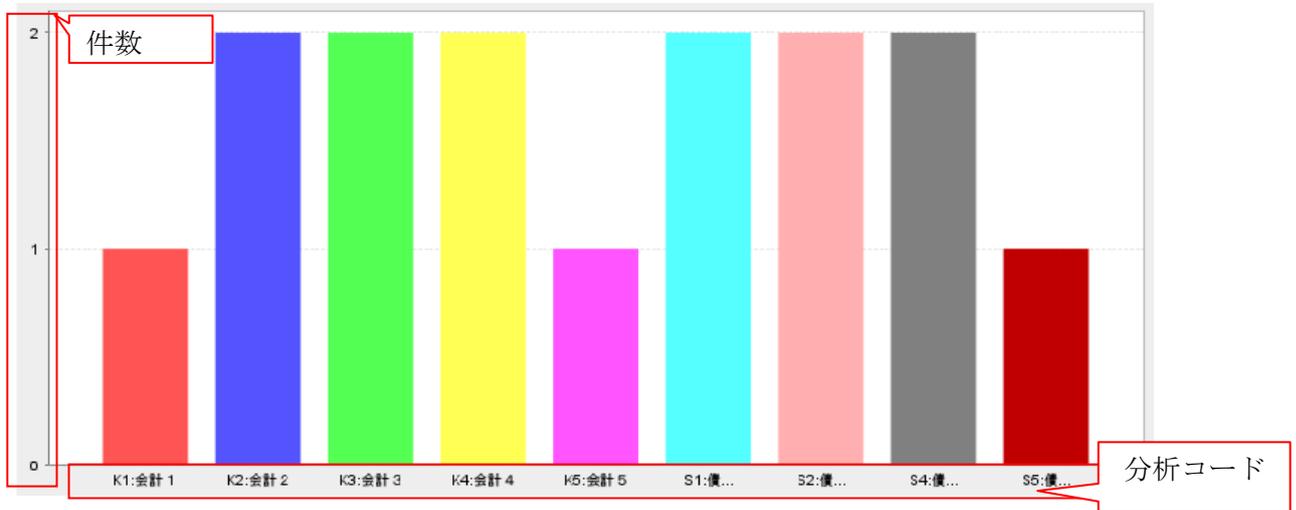
<発生対策状況集計>

障害の発生状況と対策状況が時系列に表示されます。



<コード別集計>

分析コードごとの集計件数をグラフで表示します。



<マトリクス別集計>

縦軸項目と横軸項目の組み合わせ結果を表示します。

		不良形態						発生機能			合計	
		A:新規不良	B:修正不十分	C:デグレード	D:潜在不良	E:仕様不良	F:環境不良	G:内容不十分	H:その他	未入力		
縦軸項目 (分析コード)	K1:会計1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	K2:会計2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	K3:会計3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	K4:会計4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	K5:会計5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	S1:債権債務1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	S2:債権債務2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	S3:債権債務3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	S4:債権債務4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	S5:債権債務5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
未入力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	6	3	0	0	0	1	1	1	0	3	15	

横軸項目 (分析コード)

集計結果の件数を選択すると更に明細一覧表を表示できます。

<担当者別集計>

担当者ごとに、ステータス(調査中～完了)別の集計結果を表示します。

担当者	ステータス					件数
	調査中	対策中	対策済	SI済	完了	
日立太郎	3	3	1	1	25	33
日立花子	0	0	0	0	30	30
合計	3	3	1	1	55	63

担当者

ステータス

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
